
CONTENTS

受験編

受験ロードマップ	p.12
高1・高2でやって良かったこと	p.16
高1・高2でやらずに後悔したこと	p.17
部活との向き合い方	p.18
長時間勉強のコツ	p.20
息抜きのすすめ	p.21
学習時間の推移	p.22
一橋受験の極意	
各科目の勉強法	p.24
みんなの失敗談	p.36
夏休みの1日	p.38
過去問計画データベース	p.40
地方受験生向け受験ガイド2026	p.44
推薦特集	p.45
浪人生インタビュー	p.46

受験ロードマップ

商学部 K.H.さん

高校:都立西高校

塾:通っていた

部活:文化部(週5回活動)

得意科目:英語

苦手科目:数学

共通テスト得点(圧縮前):826

二次試験開示点数:370

国語:52/110

数学:69/230

英語:194/235

社会:55/125

Start!

高2 7・8月

- ・吹奏楽部で夏のコンクールに出場、部活漬けの夏を過ごす
- ・河合塾の全統記述模試を受けるが得意だった英語ができなくなっていることに衝撃を受け、本格的に勉強を始める

≫ 部活との向き合い方は p.18へ

高2 9月

- ・英語の個別指導塾で授業を取り始める
- ・文化祭の練習に全力投球し、勉強をおろそかにする

高3 6月

- ・平日の勉強時間を増やし始める
- ・苦手科目だった数学の過去問演習に取り組み始める

高3 9月

- ・数学がスランプに陥る
- ・不安で勉強に集中できない日々が続く

高3 7・8月

- ・一橋大本番レベル模試と全統記述模試を受ける
- ・主要科目の国数英の過去問を、復習を重視しながら集中的に進める
- ・日本史通史を2周する
- ・共通テストでしか使わない科目の対策をする

高3 7月

- ・国語と英語も過去問演習を始める
- ・学校の進度が遅かったため日本史の先取りを始める

高3 10月

- ・全統記述模試と共通テスト模試を受験し、結果に落ち込む
- ・模試で間違えた問題をノートにまとめる
- ・二次試験の勉強を中心に進め一橋の過去問演習と添削の繰り返し

≫ 一橋受験の極意は p.24へ

高3 11月

- ・全統ブレ共通テストと一橋大入試オープンを受験
- ・オープンでB判定をとり、うれしい気持ちになる
- ・共通テストでのみ使う科目を復習する

高3 12月

- ・二次試験の勉強をやめ、共通テスト対策を中心に勉強する
- ・2学期終了と同時に、高校の授業で日本史の学習範囲が終了したため、復習を始める

教科書を詰めた重い鞆を持って、電車の中でも勉強し、眠い目を擦りながら孤独や不安に耐えて夜遅くまで勉強する日々。そんな苦労や挫折を乗り越えて得た経験は、必ずあなたの将来の糧になります。つらくても努力し続ける自分を誇りに思っ
て最後まで頑張ってください！



高2 10月

- ・文系に進み、一橋を第一志望にする
と決断
- ・周囲の受験に対する意識が高まり、焦り始める

高2 11月

- ・部活の一環でアンサンブルコンテストの練習に励む
- ・受験を意識して勉強記録をつけ始める

高2 12月

- ・2学期末の定期試験。選択科目以外の勉強をやる
- ・吹奏楽アンサンブルコンテストに向けて追い込む
- ・日本史の勉強と英単語の暗記を少しずつ進める

高2 1月

- ・共通テスト同日模試を受けて、現状の実力を把握する
- ・勉強のモチベーションが上がり、河合塾に入塾する

高3 5月

- ・運動会の練習に全力で打ち込む
- ・全統記述模試と共通テスト模試を受け、今までの勉強の成果を感じる

高3 4月

- ・定期演奏会をもって大好きだった部活を引退する
- ・受験勉強に本腰を入れる
- ・英語と数学に大半の時間を割く

高2 3月

- ・定期演奏会が近づき、練習により一層力を入れる
- ・コロナと胃腸炎に罹り、勉強できない日々が続く

≫ 高1・高2でやらずに後悔したことについてはp.17へ

高2 2月

- ・学校で数学の学習範囲が終了
- ・一橋の過去問を1年分解き、予想以上に難しく自信を失う

高3 1月

- ・共通テストを受験する
- ・二次試験と私大対策の勉強に切り替える。ただし時間が足りず、私大はほぼ対策できずに試験を迎える

高3 2月

- ・私大の併願校を受験するも、つらい結果に終わる
- ・日本史の最後の詰め込みに時間を割く
- ・自分を奮い立たせ、二次試験に挑む

合格!

≫ 推薦入試についてはp.45へ

≫ 浪人生インタビューはp.46へ

受験ロードマップ

経済学部 H.I.さん

高校:私立滝高校(中高一貫)

塾:通っていなかった

部活:文化部(週1回活動)

得意科目:英語

苦手科目:国語

共通テスト得点(圧縮前):829

二次試験開示点数:407.3

国語:44.9/110

数学:120.9/260

英語:169/260

社会:72.5/160

Start!

高2 7・8月

- ・高校での数学の授業が全範囲完了し、演習に入る
- ・夏休みは特に数学と英語の演習に時間を割く
- ・重要度の高い英文解釈の演習に力を入れる

≫ 高1・高2でやって良かったことについてはp.16へ

高2 9月

- ・高校の文化祭での模擬店準備、クラス企画の運営に追われ、あまり勉強に手がつかなくなる

高3 6月

- ・駿台模試を受ける
- ・夜中まで勉強するようになったことでリズムが崩れ、体調不良が続く

高3 9月

- ・部活を引退し、受験勉強に専念し始める
- ・英語・国語の過去問演習を始め、英作文と国語の要約は学校の先生に添削をしてもらう

高3 8月

- ・1日12時間勉強する
- ・朝から高校で選択型の授業を受けた後、夕方まで勉強し、夜は家に帰って勉強するを繰り返す毎日を送る
- ・河合塾の全統記述模試を受ける

≫ 長時間勉強のコツ&息抜きの方法についてはp.20へ

高3 7月

- ・河合塾の共通テスト模試を受ける
- ・一橋合格に向けて夏休みの勉強計画を立てる

≫ 夏休みの計画についてはp.38へ

高3 10月

- ・世界史の通史の学習がひととおり完了する
- ・世界史の過去問演習を本格的に始める
- ・河合塾の早慶レベル模試、共通テスト模試、全統記述模試を受ける

≫ 過去問勉強計画についてはp.40へ

高3 11月

- ・河合塾の一橋大入試オープンを受ける
- ・早慶レベル模試の結果が悪く落ち込む

高3 12月

- ・高校の授業で共通テスト対策をするようになる
- ・1か月で共通テスト数学の過去問を10年分やる
- ・一橋祭で買った『秋本』を読んでモチベーションを上げる

受験勉強は、先が見えずつらいことや勉強の方法に自信が持てず焦ることも多いですが、努力した時間は必ず自分の糧になると思います。困ったことがあれば周りを頼ることも大切です。自分だけで抱え込みすぎずモチベーションを維持しながら最後まで駆け抜けられるよう応援しています！



高2 10月

- ・世界史の学習進度が周りより遅いことに気づき焦りYouTubeの動画で先取りの勉強を始める

高2 11月

- ・世界史の記述対策を始め、添削してもらう
- ・記述の答えは先生などに見てもらうのがおすすめ

高2 12月

- ・高校の修学旅行を全力で楽しむ
- ・冬休みは全体的に復習をメインに勉強を続ける
- ・その中でも数学に多くの時間を割き苦手分野の演習に力を入れる

高2 1月

- ・共通テストと同日に学校で共通テスト演習をする
- ・あと1年しかないことに焦り始める

高3 5月

- ・数学の過去問演習を始める
- ・河合塾の共通テスト模試、全統記述模試を受ける

高3 4月

- ・学校の授業で国語・理科基礎・情報の共通テスト演習を始める
- ・家では二次試験用の参考書を用いて演習を行う
- ・平日6時間以上勉強できるようにする

高2 3月

- ・勉強時間の計測をしたら思ったより勉強していないことが判明してしまい焦る
- ・平日5時間以上勉強することを目指すようになる

高2 2月

- ・初めての共通テスト模試を受ける
- ・思っていたより点数が高かったので調子に乗り油断する

》学習時間の推移についてはp.22へ

高3 1月

- ・過去問演習を一旦やめて、共通テスト対策に全振りし、過去問演習と復習を繰り返す
- ・共通テスト前に体調不良になりそのまま本番を迎えてしまう
- ・共通テスト後は一橋の二次試験に備えて記述の感覚を思い出すため、英語と国語の演習量を増やす

》受験の失敗談についてはp.36へ

高3 2月

- ・最後の詰めとして世界史の知識確認、記述問題演習に多くの時間を割く
- ・共通テスト前の反省から二次試験前に体調不良にならないように気をつけ、十分に睡眠をとる

》地方生向けの受験情報についてはp.44へ

合格！

高1・高2でやって良かったこと

英検準一級の取得

英検準一級をとるメリットは、何よりも自信がつくことです。英語が得意であることを客観的に認められたと感ずることが出来ます。実際に、英検準一級の英語力を持っていればだいたいの大学の英語は解けると思います。もちろん、資格としてさまざまな場面で使えますし、さらに試験に向けて努力をするという良い練習にもなります。対策としては単語学習と形式への慣れが肝心です。単語を完璧に暗記するために単語帳を地道にやり、形式に慣れるために同じ形式の問題をたくさん解き、可能なら添削を受けることが英検準一級合格への最大の近道です。

商学部 T.K.さん

学校の定期試験に全力で臨む

僕は学校の定期試験に全力で臨んでいました。理由は受験勉強のためというよりも、友人に順位で絶対に負けたくなかったからです。試験の3週間～1か月ほど前から勉強を進めて、毎回100点、学年もしくは文系で1位を取ることを目標にしていました。

定期試験は日頃の授業で学んだことの確認に役立ち、僕たちの合格をサポートしてくれます。定期試験で基礎知識を定着させ、勉強習慣を身につけることは受験期の大きな助けになると思います。受験は、コツコツ積み重ねた勉強習慣と基礎知識があれば何も恐れることはありません。早い段階から定期試験に全力で取り組みましょう。

社会学部 U.K.さん

数学の先取り学習

高1の11月までに数ⅠAの学校のワークを9割完成させました。高1の12月からは数学ⅡBの青チャートを解き始め、高2の夏休みまでに1周、数学Cは秋に1周、高3の春休みに数学ⅡBCの間違った箇所のみ2周ずつしました。問題につまづいたら解説を読み、5分経ったらわからなくても問題に付箋を貼り別の問題を解いていました。最初から完全に理解することを目指すよりも問題に慣れた方が理解が追いつくので、多くの問題に触れるのがおすすめです。また、解答例をそのままノートに書いたり、例題の解答例と照らし合わせながら解いたりすると、自分のつまづきやすい部分がわかります！

商学部 K.Y.さん

二次試験で重要な科目に時間を割く

私は経済学部志望だったのでとにかく英語・数学が重要でした。高2の6月までは定期試験の勉強のみをしていました。それ以降は、模試で英語・数学の全国偏差値70超えを目指して、1日の勉強時間のうち、7割ほどを数学、3割ほどを英語に割きました。ほかの科目は授業時間と定期試験前くらいしかやっていませんでした。数学でやって良かったことは、答えをすぐに見ず、泥臭く考える練習をしたことです。英語では基礎固めはもちろん、速読力向上のために音読をしたことが良かったです。

経済学部 H.A.さん

高1・高2でやらずに後悔したこと

高校生活を思いきり 楽しまなかった.....

たしかに勉強は高校生活で大切な要素ですが、友人と過ごす時間や部活も同じくらい大事です。勉強が忙しくても、楽しむことをセーブしすぎないでほしいと思います。また高1、高2で頑張りすぎると、高3で燃え尽きてしまうこともあるので注意が必要です。ただし、高1、高2のうちにやっておくべきことが2つあります。英単語と英文法を固めること、そして数学の教科書レベルの基本問題を解けるようにしておくことです。これだけでも高3の受験勉強がスムーズに始められます。青春を楽しみつつ、少しずつ勉強も進めてください。応援しています。

社会学部 A.R.さん

古文単語や英単語を 覚えていなかった.....

私は高3になっても英単語や古文単語が頭に入っていなかったため、過去問演習で単語の意味がわからず、夏休みに単語の勉強にかなりの時間を使いました。それでも短期間で覚えられる量には限界があり、結局わからない単語がたくさん残ったまま入試本番を迎えてしまいました。こうならないためには高1、高2のうちの積み重ねが大切です。学校や塾の小テストで満点を取れるくらい勉強できると理想的です。通学時間などのスキマ時間やスマホの単語アプリを活用して頑張ってください。

商学部 S.K.さん

共通テスト用の科目の勉強を 後回しにした.....

二次試験で使わない共通テスト用の科目(古文・漢文・理科基礎・地理・情報)を後回しにしたことです。高1、高2の時は英語・数学を優先し、定期試験前のみそれ以外の科目の勉強をしていました。特に理科基礎や情報は高1の時しか学校で授業がなく、高3の時には内容を忘れてしまい、模試の点数も低迷しました。その結果、11月から本番までかなりの時間を理科基礎や情報の対策に費やすことになりました。志望していた社会学部は理科基礎の配点が高かったため、早いうちから基礎だけでもしっかりと固めておけば良かったと後悔しています。

社会学部 N.M.さん

英単語帳を完璧にしなかった.....

私の高1、高2での後悔は英単語帳を完璧にしなかったことです。言うまでもなく英単語は英語の学習をするうえで根幹となる部分であり、この部分をおろそかにすると、高2の後半から和訳や英語長文などの演習に入っても英単語でつまずき、英単語の復習に時間が取られ、問題演習の効率も落ちます。すると高3に入って社会や共通テストの対策に手を回したくても、英語の勉強が間に合っていないため英語を優先せざるを得なくなります。どんなに英語が苦手でも英単語帳は高2の冬までに完成させましょう。一橋を受けるならいずれはやらないといけないことです。頑張りましょう。

法学部 M.T.さん

<< 部活との向き合い方 >>

部活に励む高校生。ときには忙しさと疲れから勉強に手が回らないことも……
一橋生たちはピンチをどう乗り越えていたのか、見ていきましょう！

運動部Aさん

ピンチ1

平日は練習の疲労がたまり、ほとんど勉強できない……



乗り越え方1

引退前、帰宅後はほぼ勉強できなかったため、電車で単語帳をやる程度でした。その代わりにオフシーズンに勉強時間を確保し、高1、高2は主に数学の予習復習や英文法・長文読解に取り組みました。また、定期試験前は1日4時間、土日は10時間勉強し、クラス上位を保っていました。練習を休んだり、友達との遊びを控えたりすることはせず、時間のある時に集中して勉強していました。勉強も大切ですが、高校生活でしか経験できないことを存分に楽しむのがおすすめです。

部活：水泳部

活動回数：週5(夏)

週2(冬)

引退時期：高3の6月

ピンチ2

引退試合と文化祭の時期が重なり、勉強時間が取れない……

乗り越え方2

30分しか勉強できない日も多く、焦りもありましたが、部活や行事は今年しかできないのだからと割り切り、練習や準備に集中しました。その分、通学やドライバー中などの時間を有効活用し、少しでもいいので毎日勉強するようにしました。6月に引退し、平日の勉強時間を1~2時間から5~6時間に増やしました。運動量が減り、寝付けなかったこともありましたが徐々に慣れました。部活や行事を最後までやり切ったことで、スムーズに受験勉強へと切り替えられました。

GOAL!!!

一橋生の高校時代の部活アンケート（一部紹介）

運動部：野球部、サッカー部、水泳部、卓球部、ボウリング部、ボート部、ハンドボール部、陸上部、空手部、硬式テニス部、バレーボール部、バドミントン部

文化部：オーケストラ部、百人一首部、英語ミュージカル部、吹奏楽部、化学部、演劇部、囲碁将棋部、合唱部、軽音楽部、茶道部、模擬裁判部、イラスト部、ギター部

その他：応援部、日本舞踊部、ダンス部、生徒会、文化祭実行委員、帰宅部 etc...

文化部Bさん

ピンチ1

帰宅後、疲労のせいで寝落ちしてしまい全然勉強できない.....



乗り越え方1

十分な勉強時間を確保できずにストレスが溜まることもありましたが、帰宅後に勉強ができないと学んだ私は、スキマ時間を有効活用するようにしました。具体的には、電車での登下校中に英単語や古文単語、世界史などの暗記系をやり、朝の始業前や休み時間には数学や英文解釈などをやっていました。また、委員会活動のない休日は勉強する絶好のチャンスだったので、12時間くらい勉強してなんとか遅れを取り戻していました。忙しい時ほど、オンとオフの切り替えが大切です。

部活：文化祭実行委員会

活動回数：週3～週5

引退時期：高3の6月

ピンチ2

周りが受験勉強を始める中で、十分な勉強時間を確保できない.....

乗り越え方2

まず、自分と他人を比べることをやめて、忙しい中でもちゃんと課題はこなしていることや、ほんの少しであっても勉強時間を確保していることで自分を褒めてあげるようにしました。そして、直前期の1～2週間は勉強のことをあまり意識せずに文化祭に本気で向き合うことを決心しました。勉強も委員会活動も中途半端にやると将来後悔すると思ったからです。これにより、文化祭後はすっきりとした気持ちでスムーズに受験勉強へ移行することができました。

GOAL!!!

ずっと勉強で飽きた...

集中力が持たない...

長時間勉強のコツ

Q1

1日の勉強時間が長くなり集中力が切れてきたときでも気軽にできる、おすすめのプチ勉強法を教えてください。

音読はあまり集中力を必要とせず、ただ読み続けるだけでも内容が自然と頭に入ってきます。そのため、1日の中で数時間おきに音読時間を作ると、長時間の勉強が苦になりにくなります。

Q2

疲労がたまったときのおすすめの息抜きやリフレッシュ方法を教えてください。

休憩方法としては、音楽を聞きながら少し外を散歩するのがおすすめです。気分がかなりリフレッシュされます。また、数学の基礎的な勉強に限っては、音楽を聞きながら取り組むと楽しく続けることができます。

Q3

音楽を聞きながら勉強するうえで、何か注意すべきことはありますか？

気を取られやすい人や、ついついスマホを触ってしまう人には音楽を聞きながらの勉強はおすすめしません。また、高い集中力を必要とする暗記科目の勉強に取り組む場合も同様です。

コラム：その他おすすめのプチ勉強法

資料集を精読、動画の視聴、マーク式問題、単語アプリ、ラジオ英会話講座、一問一答、早押しクイズ、リスニングや聞き流し系、数学の過去問の比較的問題、好きな教科

息抜きのすすめ

◎適度な息抜きのメリット

勉強漬けの日々が続く受験生にとって、ほどよい息抜きは心身の支えになります。一橋祭運営委員 47 名のおすすめの息抜き方法を紹介します！

◎病み期特集

“病み期”を経験してしまう人も少なくありません。一橋生がどのように乗り越えたかを見ていきます！

病み期の乗り越え方

- ・合格後の自分の姿を想像する。
- ・一秒も勉強しない。潔く遊ぶ。
- ・いつもお世話になっている先生に相談に乗ってもらう。
- ・前に進まない理由はないと自分を鼓舞する。
- ・自分が少しでも勇気を出せたら心の中で自分を褒めるようにする。
- ・とにかく休む。

病み期を越えた先輩からのメッセージ

- ・数日勉強しなかっただけでバカにはならないから大丈夫。
- ・病んで涙が止まらないのは、自分の目標にちゃんと向き合っている証拠。きっと大丈夫。
- ・下がったら上がる時がくる。しんどくない範囲で頑張ろう。
- ・なんとかなる。

アウトドア派

- ・立川の塾で冬期講習を受けた後に、大学通り（一橋大学のそばの大通り）を歩いた。
- ・パッティングセンターに行って打ちまくる。
- ・筋トレで重い重量を上げてみる。
- ・軽井沢や鬼怒川に唐突に出かけて勉強。
- ・時間を決めてジムで走りこむ。
- ・夜に自宅のそばを徘徊する。（※自己責任）
- ・遠くにある砂浜まで自転車で行って、日没を眺めてから帰宅。
- ・家のそばの坂やジムで全力ダッシュする。

インドア派

- ・ほどよく漫画やSNSを楽しむ。
- ・一橋大学のパンフレットを読む。
- ・推しのアイドルのライブ映像を見る。
- ・アニメの名言集を読む。
- ・ご飯のときにドラマやバラエティ番組を見る。
- ・辛いラーメンを食べる。
- ・とにかく寝て、嫌なことや不安なことを忘れる。
- ・お気に入りのバスソルトを使って長時間入浴。

その他

- ・受験系YouTuberの動画を見る。
- ・友人と一緒に何時間も話す。
- ・あえて過去問に取り組む。
- ・受験後にやってみたいことをノートに書きだす。
- ・一橋大学に通う先輩にお話を聞いてモチベを上げる。
- ・泣きたいときは泣く。スッキリするよ。
- ・卒業旅行のことを考えて夢を膨らませる。
- ・家族にメンタルのケアをしてもらう。
- ・友人や兄弟と寝落ちするまでひたすら通話。
- ・自分の不安や悩みを周りの人と共有する。

学習時間の推移

いよいよ高校2年生を終えた2人。ここで、K.H.さんとH.I.さんの学習時間の推移を追ってみましょう！

結論

一橋生は、学校や塾での勉強の進み具合や自分の得意・不得意に合わせて勉強量を調節していました。計画的に勉強ができる人も、そうでない人も、先輩たちの姿から学ぶことができるはずです！また、1日の効率的な時間の使い方や、勉強と余暇の配分なども必見です。

K.H.さん(商学部)
(塾あり/都内/公立)

都立高校のカリキュラムの特徴として、文理選択のタイミングが遅いこと、そして社会の学習範囲の終了が遅いことが挙げられます。

そのため...



塾では学校の未習範囲の先取り学習を行っていませんでした。国語・数学については学校の進度に合わせて勉強し、英語については英文解釈の参考書を自主的に進め、高2までにそのだいたいを終わらせました。社会については、高3の1学期までは学校の進度に合わせ、高3夏から通史を先取りして自主的に進めました。夏休み終了までに通史を2周し、2学期から過去問演習に入りました。受験までのロードマップをイメージし、ゴールから逆算していつまでに何を終わらせなければならないかを考えることを常に意識して勉強していました。

LEVEL.1
高1・高2

LEVEL.99
高3

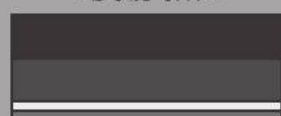
LEVEL.???
直前期
<Level Up!>

- 英語 ← 得意
- 数学 ← 苦手
- 国語
- 社会

{ 部活: 2.5h/day
睡眠: 7.0h/day

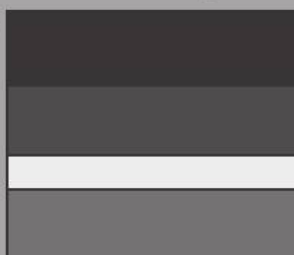
<Level Up!>

<Start!!!>



3.5h/day

英: 数: 国: 社 = 45:45:5:5



6.5h/day

英: 数: 国: 社 = 30:30:10:30



12.0h/day

英: 数: 国: 社 = 20:35:5:40

H.I.さん(経済学部)

(塾なし/地方/私立中高一貫)

私は中学校・高校ともに塾に通っていませんでした。その代わりに、自分で高校範囲の先取り学習を中3から始め、文理選択は高1冬に行いました。

そのため...



高1のころは英語と数学に同程度の時間を割いていましたが、高2の春に数学の全範囲の学習が終わったため、それ以降は英語により比重をかけました。塾に行っていなかったため、基本的には過去問演習をしていました。高3は基本的に英語と数学に多く時間を割きましたが、世界史は通史の授業が終わるのが遅く演習の時間を十分にとることができませんでした。そのため、共通テスト後は世界史に特に時間を割きました。ただ、過去問20年分を解ききれなかったため、もう少し早くから演習を始めることをおすすめします。

LEVEL.1 高1・高2

- 英語
- 数学 ← 得意
- 国語 ← 苦手
- 社会

<Start!!!>



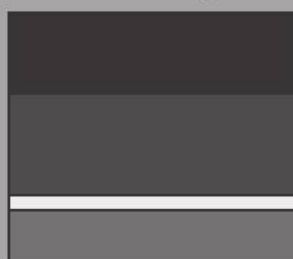
2.0h/day

英:数:国:社=35:45:10:10

LEVEL.99 高3

{部活:1.5h/day
睡眠:5.0h/day}

<Level Up!>



7.0h/day

英:数:国:社=30:40:5:25

LEVEL.??? 直前期

<Level Up!>



12.0h/day

英:数:国:社=20:40:10:30

コラム

一橋祭運営委員47名に聞いた! アンケート大公開!

平均睡眠時間



■ 6~8h ■ 8~10h □ 4~6h ■ その他
min:2.0h max:12.0h

スクリーンタイム



■ 2~3h ■ 3~4h □ 1~2h ■ その他
min:0.25h max:16.0h

SNS利用時間



■ 0~1h ■ 1~2h □ 3~4h ■ その他
min:0h max:4.0h

一橋受験の 極意

～国語編～



現代文、文語文、要約全てにクセがある難易度の高い科目です。それぞれの問題の対策法をしっかりと身につけて、周りとの差をつけましょう！

■社会学部 S.I.さん

○基本データ

- ・現役
- ・私立
- ・帰宅部

○特徴・傾向

第一問は短い字数での記述問題が課されます。第二問は近代文語文が出題されることが多いですが、稀に古文が出題されることもあります。第三問は200字で文章を要約する問題が出題されます。

○勉強法

第一問の現代文の記述問題はとにかく解答欄の字数制限が厳しいので、自分が納得のいく答案ができるまで何度も答案を練り直すことが有効だと思います。第二問の近代文語文は一橋以外の大学ではあまり見られない形式になっていて、普通に勉強していて出会うこともあまりないと思うので、過去問を早めに解いて慣れると良いと思います。また、読む際には漢文の句法の知識や古文の単語の意味などが必要となることに加えて、第二問では数年に一度古文が出ることもあるので古文と漢文の勉強もしっかりとしておくのがおすすめです。第三問の要約問題は過去問を使って練習し、書いたらその都度信頼できる先生に添削してもらおうと良いと思います。

○使用した参考書

・『上級現代文Ⅰ』

○開示得点 99/180 (55%)

当日解き終わったときはとても自信があったのですが、いざ開示を見てみると6割にも届いていなくてとても驚きました。国語はほかの科目よりも自分の手応えと実際の結果に差が出てしまう科目だと改めて実感しました。

○苦戦したところ

私は第二問の近代文語文に苦戦しました。自分では本文全体の趣旨を十分に理解したと思っていても、実際には細かいところまで把握ができておらず、解答を作る際に細かい要素を抜かし、なかなか点数が伸びないということがよくありました。

○受験生の方に向けて

国語はなかなか安定しづらいうえに高得点を狙うのが難しい科目だと思います。もちろん最低限の勉強は必要ですが、あまり時間をかけ過ぎず期待をし過ぎない方が良い科目なのかもしれません。

○高2以下の方に向けて

高3になってからはほかの科目の勉強が忙しく、古文単語や古文文法、漢文の句法などを勉強する時間は取れないと思うので、とにかく古文・漢文の基礎知識は高2までに終わらせておくべきだと思います。

みんなの勉強法を大公開！

大問ごとにそれぞれコツをつかんでから、時間配分を考える。

漢字は毎日やって、絶対に間違えないようにする。

部分点を積み上げていく意識を持って解答を書く。

演習をたくさん重ねて特殊な問題形式に慣れる。

■ 経済学部 T.U.さん

○ 基本データ

- ・ 現役
- ・ 公立
- ・ 文化部

○ 特徴・傾向

大問3題の構成で、現代文、近代文語文、現代文の要約問題の順で出題されます。第二問では基本的に近代文語文が出題されますが、過去には古文や現古融合文が出題されており注意が必要です。

○ 勉強法

一橋の国語は記述がメインであるため、塾や学校の先生による添削指導が効果的です。他者の目からの採点がないと国語の記述力を伸ばすことは難しいからです。また、近代文語文については古文・漢文の基礎知識があれば読めるので、共通テストのための古典・漢文演習のついでにそれらの知識を吸収すれば効率的です。また、全体的に一橋国語の記述の字数制限は厳しめです。そのため、記述演習の際には短い文章でまとめるという意識を常に持ち、慣れるまで演習を積んでほしいです。最後に、一橋国語の出題形式は特殊なため過去問を解くのが最も良い演習になります。近代文語文や要約のような普段触れる機会がない形式は、特に過去問を用いて演習すると良いと思います。

○ 使用した参考書

・『一橋大の国語20カ年』

○ 開示得点 57/110 (52%)

正直もう少しできていると思っていたのですが、国語は出来・不出来がわかりづらい科目なので素直に結果を受け入れました。経済学部なので国語の配点は小さいですし、国語で高得点を狙うことはかなり難しいと考えていたため、特にショックは受けませんでした。

○ 苦戦したところ

私の場合は第三問の要約に苦戦しました。受験生になるまであまり要約などの経験を積んでこなかったのも、短い文章にまとめたり、原文から重要な要素を抜き出したりすることができるようになるのに苦労しました。一橋の国語はクセがあるので慣れるまでは難しいと思います。

○ 受験生の方に向けて

個人的には、勉強の優先度で国語が高い人はほとんどいないと思います。そもそも国語は高得点を取れる科目ではないうえに、一橋においては社会学部を除いて国語の配点はほかの二次試験の科目と比べて低いからです。現段階で、国語で焦る必要はありません。

○ 高2以下の方に向けて

古文・漢文の基礎を固めれば国語に多くの時間を費やす必要はないと思います。それよりも差がつきやすく、配点が高い英語などの科目を重点的に学習の方が効率的です。勉強頑張ってください！

一橋受験の 極意

～数学編～



文系最難関との呼び声もある数学ですが、出題分野や問題には傾向があります。頻出範囲を徹底的に対策して、高得点を目指しましょう！

■ 経済学部 H.N.さん

○ 基本データ

- ・現役
- ・公立
- ・文化部

○ 特徴・傾向

一橋の数学では整数と確率、微分積分に関する問題がほぼ毎年それぞれ1題ずつ出ます。微分積分や確率は比較的難易度が低い問題が多いです。図形問題も頻出ですが、難易度は高めとなっています。

○ 勉強法

まず基本的な数学の事項を押さえるために網羅系の参考書に徹底的に取り組みましょう。その後、『標準問題精講』などの国公立二次試験レベルの問題集に取り組みましょう。この段階で一橋の数学に挑む基礎学力はつくるので、少しずつ『文系数学の良問プラチカ』などの発展的な問題集や過去問を始めていきましょう。発展レベルの問題集は一橋の頻出分野に絞って取り組むことも有効です。この段階で一橋の頻出分野の中で得意分野をつくり、本番の試験で自分がどの分野の問題に集中して取り組むかを決めましょう。また、一橋数学の解答用紙の大きさは1題あたりの枠がB5サイズと他大学に比べて小さいため、日頃からコンパクトに論述する練習をしましょう。

○ 使用した参考書

・『文系数学の良問プラチカ』

○ 開示得点 123.5/260 (48%)

自分では3題完答したと思っていたのですが、後々細かい計算ミスをしていたことに気付きました。点数はほぼ5割(2完半)だったので、人によっては計算ミスも合否を分ける命取りになりうると感じました。そのため、日々の問題演習においても計算ミスをしないように気をつけましょう。

○ 苦戦したところ

各問の難易度の見極めに苦戦しました。自分が得意だった整数問題は、稀にほぼ誰も解けない問題が出てくるので、過去問演習の際は時間が取られ、思うように点数が取れないときがありました。各問の難易度が書かれている参考書だけでなく赤本などで本番の試験と同じように解いて見極めの練習もしましょう。

○ 受験生の方に向けて

数学は点数が安定しないと言われますが、時間を割けばその分伸びる科目だと思います。学部によっては数学を安定させたり、武器にしたりできるとかなりのアドバンテージとなるので、長い時間をかけて地道に取り組むことが大切です。

○ 高2以下の方に向けて

数学は成績を伸ばすのに時間がかかる科目なので高1、高2の間から日々取り組む必要があります。網羅系の参考書を高2までに完了させると、高3になってから他科目に時間を割けるようになり大きなアドバンテージになります。

みんなの勉強法を大公開！

毎日過去問を一定数解いて、一橋の数学の問題に慣れる。

多く出る傾向にある分野を集中的に対策する。

夏までに基礎をしっかり固めてから過去問演習に臨む。

YouTube解説を見て解法を細かく理解する。

■ 社会学部 A.M.さん

○ 基本データ

- ・ 現役
- ・ 私立中高一貫
- ・ 文化部

○ 特徴・傾向

大問5題で構成されており、毎年のように整数、確率・場合の数、微分積分が出題されます。大問ごとに自分で解答スペースを割り振る必要があるため、時間配分だけでなく、答案構成の練習も必要になります。

○ 勉強法

社会学部志望の私は数学を得点源にはせず、大問5題で部分点を積み重ね、20%程度の得点を狙う戦略でした。『一橋大の数学20カ年』で頻出分野や出題傾向を把握して、特に整数問題と確率に重点を置いて演習し、追加で『文系数学の良問ブラチカ』にも取り組みました。1つの解法に固執せず、さまざまな解法に触れて発想の引き出しを増やすことも意識しました。一方で、その他の単元は共通テストレベルの対策に留め、勉強時間の大半を世界史に充てていました。共通テストの過去問演習を繰り返したことで基礎力や処理能力が身に付き、それが二次試験にも大いに役立ったと感じています。志望学部の配点に応じて勉強量を調整することも大切だと思います。

○ 使用した参考書

・『一橋大の数学20カ年』

○ 開示得点 59/130 (45%)

得意な整数問題は完答できませんでしたが、苦手な単元で点数を稼ぎ、諦めずに答案を書く大切さを感じました。また他科目の失点を数学でカバーできたため社会学部志望でも軽視できないと感じました。配点が少ないためあまり気負わず解けたことも大きかったです。

○ 苦戦したところ

一橋特有の発想力を要する問題では方針がまったく浮かばず、時間内に記述をまとめることにも苦戦しました。また、得意な世界史に逃げて数学の勉強時間が不足しがちなことも悩みでした。私は音楽を聞きながら数学を解き、少しでも楽しみながら苦手科目と向き合っていました。

○ 受験生の方に向けて

慰めになるかはわかりませんが、冠模試で偏差値40.1だった私でも本番まで諦めずに数学と向き合えました。一橋の数学は満点を目指す科目ではありません。取れる問題で部分点を積み重ね、最後まで答案を書き切ってください。応援しています！

○ 高2以下の方に向けて

応用問題に目が行きがちですが、最終的に支えになるのは基礎力です。高3になる前に青チャートなどで基本解法を身に付けておくと、受験学年での演習の質が大きく変わります。頑張ってください！

一橋受験の 極意

～英語編～



英語はどの学部においても配点が高く、最も重要な科目といっても過言ではありません。しっかり対策して得点源にしましょう！

■ 商学部 Y.K.さん

○ 基本データ

- ・現役
- ・私立中高一貫
- ・運動部

○ 特徴・傾向

大問構成は基本的には長文が2題、自由英作文が1題です。全ての大問で記述問題が中心となっています。自由英作文は、絵を説明する問題やメール形式の問題など形式が年によって多岐にわたります。

○ 勉強法

一橋の英語の対策は、参考書を使うよりも過去問演習をする方が効果的です。なるべく早く一橋の過去問演習に取りかかり、問題の傾向を理解して、自分に何が足りていないのかを把握することが大事です。また、一橋の英語はマニアックな単語や文法の知識は問われないことが多いですが、前置詞に関する問題が頻繁に出題される傾向にあるので、熟語や前置詞の意味を覚え、前置詞の感覚を研ぎ澄ますことが大事です。さらに、並べ替え問題も頻繁に出題されるため、文法の知識もある程度は求められます。自由英作文は問題形式が独特なうえに、年によって出題される問題内容の傾向が異なるので、過去問をこなしてさまざまな形式に慣れる必要があります。

○ 使用した参考書

・『出る順で最短合格！英検準1級単語熟語EX』

○ 開示得点 135/235 (57%)

手ごたえ通り、そして過去問演習通りの点数でした。例年に比べて時間に余裕があったため、受験本番の緊張している状態でも普段通りの力を発揮できました。今年は記述問題が少なく、選択問題が多かったため、部分点を狙いにくかったのですが、なんとか正解の選択肢を選び失点を抑えられました。

○ 苦戦したところ

一橋では前置詞の問題がほぼ必ず出題されるのですが、私は熟語の勉強を怠っていたため苦戦しました。また、絵の説明をする自由英作文では、日常的な動作や物を英語で表現することに慣れていなかったため、頭に思い浮かんだことを思うように表現することができずに苦労しました。

○ 受験生の方に向けて

なるべく早く過去問を解いて傾向を把握しましょう。その際は、学校の先生など、必ず誰かに添削を頼みましょう。また、熟語の勉強を怠らないください。英語が苦手でも、文章の展開が読み取れれば解ける問題が多いので諦めずに問題に取り組みましょう。

○ 高2以下の方に向けて

何よりも単語・文法の基礎を固めることが大事です。また、選択肢がある想定で長文を読むのではなく、その内容について日本語で説明が書けるように読解する習慣をつけると英語力が伸びると思います。

みんなの勉強法を大公開！

長文の過去問を音読までして、しっかりと読み込む。

単語帳を何度も見て、準一級レベルの単語力を身につける。

英作文を学校の先生に添削してもらって、書き方のコツを覚える。

どんな英作文にも使えそうな言い回し、熟語などをあらかじめ覚える。

■ 経済学部 R.K.さん

○ 基本データ

- ・ 現役
- ・ 公立
- ・ 文化部

○ 特徴・傾向

一橋の英語は基本的には記述問題を中心とする長文2題と自由英作文1題ですが、長文が1題となったり自由英作文の語数が減ったりするなど、傾向は一定ではありません。特に自由英作文の形式は多岐にわたります。

○ 勉強法

夏までは単語や熟語、英文解釈といった長文を読むうえで必要になる基礎的な英語力を身につけましょう。それ以降は過去問を中心に長文の演習をするのが良いと思います。一橋の英語の傾向は一定ではありません。多くの過去問を解き、入試本番にどの形式が出てても対応できるようにしましょう。自由英作文は特に傾向が安定しません。基本的に同年度の前期と後期では形式は一緒であるため、余裕があれば後期の過去問も用いるのも手だと思います。過去問は解いた数に比例して成績が伸びるものではないと思いますが、一定のペースで過去問演習を積み、形式に慣れると良いと思います。また前置詞に関する出題も多いため、基本的な熟語や前置詞のはたらきは熟語帳などを使って覚えましょう。

○ 使用した参考書

・『英熟語 最前線 1515』

○ 開示得点 176/260 (68%)

自己採点や過去問演習での推定得点とほぼ同じでした。例年より記号問題が多く部分点は取りにくかったですが、語順整序などの文法知識を問う記号問題で高得点を取り、試験全体としては目標よりも高い点数が取れたと思います。本番は緊張しましたが、試験会場でも実力を発揮できたと思います。

○ 苦戦したところ

一橋の自由英作文は他大学と似たような問題が少ないため、対策が手薄になり、本番では何から書けば良いかわからず苦戦しました。また、あまり先生に記述の添削をしてもらっていなかったため、記述の問題で何が問われていて何を書くべきかを把握することに苦戦した問題もありました。

○ 受験生の方に向けて

一橋の英語は傾向が安定しないため、入試本番でどのような問題が出るか不安に感じる人もいますが、基本的に問われているのは総合的な英語力です。まず基礎を固め、演習を積んでいけば高得点が狙えるので頑張しましょう。

○ 高2以下の方に向けて

一橋の入試問題は自由英作文と長文問題が中心ですが、まずは単語や文法などの基礎を固めないと太刀打ちできません。部活などで忙しく勉強時間がとれなくても、毎日少しは英語に触れ、基礎を早めに固めましょう。

一橋受験の 極意

～日本史編～



大学受験でも屈指の難易度を誇っている一橋の日本史。勉強法の工夫や過去問の活用によって徹底的に対策することが大切です。

■ 社会学部 Y.S.さん

○ 基本データ

- ・現役
- ・公立
- ・文化部

○ 特徴・傾向

二次試験の日本史は、400字の記述形式で大問は3つから構成されています。例年、経済や商業関係の問題や、近現代以降の問題が多いですが、昨年からは第3問が歴史総合の範囲から出題されています。

○ 勉強法

個人的に一問一答よりも、教科書の文章の空欄補充の方が単語と合わせて流れも覚えることができるので、最初から最後まで予習復習に利用していました。論述問題は自分の予習や授業の進度に合わせて進めましたが、始めたのは夏以降だと思います。最初は、教科書の記述を利用して自分なりに書いてみて、添削指導や参考書の解答と照らし合わせて、足りていなかった部分の確認や流れの理解をすると良いと思います。共通テストの対策は過去問を解くだけで十分だと思います。過去問を解いてみて、間違えた問題はもちろん、選択肢や問題文の中で疑問に思う部分や、記憶があいまいな部分があれば、逐一確認することが大事です。

○ 使用した参考書

・『段階式 日本史論述のトレーニング』

○ 開示得点 109/230 (47%)

開示得点は109点でした。思っていたよりは低かったですが、第1問や第3問が今までの過去問であまり登場していなかったり、日本史選択者には難しい範囲が多かったりしたので妥当だなという印象でした。個人的に第2問が一番取れたのかなという印象でした。

○ 苦戦したところ

第1問が鎌倉仏教で面食らいましたが、直前に取り組んだ参考書と似た問題だったので、それなりに解答を書けました。また、第3問の1問目が特に日本史で出てこない部分だったので、第3問は文字数を稼ぐのに苦労しました。

○ 受験生の方に向けて

特に近現代の経済の動きは混同しやすく、その動きの影響や背景の理解が難しいと感じるかもしれませんが、経済的要素以外とも結びつけて考えられると一貫した流れで理解できると思います。

○ 高2以下の方に向けて

学校の授業進度が遅いからといって焦る必要はないので、ほかの科目も大事にしてください。どの科目でも言えることですが、時間があるうちに参考書や勉強法をいろいろ試して、自分にあった方法を確立してみてください。

みんなの勉強法を大公開！

一問一答や資料集をよく読み、単語を頭に入れ続ける。

過去問を何度も解いて、傾向をつかんだり、自分の解法を確立したりする。

教科書を読み込んで、単語や歴史の流れを理解する。

歴史の流れや要点は完璧に説明できるくらいの気持ちで暗記する。

■ 経済学部 M.H.さん

○ 基本データ

- ・ 現役
- ・ 私立中高一貫
- ・ 文化部

○ 特徴・傾向

二次試験の日本史は、第1問が近代以前、第2問が近代以降、第3問が歴史総合という形式で出題されることが多いです。また、各大問400字以内で、自分で字数配分を考えて解答するというのが特徴として挙げられます。

○ 勉強法

高3の春までは高校の定期試験対策を中心に勉強していました。7月ごろに授業で通史が終わってからは、教科書を読みながら過去問の第2問・第3問に取り組みました。流れとしては、解答に使えるようなキーワードを書き出したうえで答案を書き、その後、教科書や資料集、赤本の解説などで自分なりに添削をしてから日本史の先生にも添削をしてもらっていました。これを12月ごろまで続けて20年分の過去問を演習しました。その後は共通テスト対策も兼ねて、第3問の歴史総合や第1問の近代以前の問題に取り組みました。第1問は類題が出題されやすいと感じたため、近代以降の分野ほど知識を深掘りしすぎず、用語の定義を説明できるようにすることを重視して対策しました。

○ 使用した参考書

・『詳説日本史研究』

○ 開示得点 75/160 (47%)

第1問が過去問に似た問題であったことや、第3問の世界史寄りの問題にも対応できたことから自信はありましたが、求められる答えと自分の解答が少しズレていたのかなと思います。また、第2問の近代経済史は頻出でしたが、長い間触れておらず、思うように解答できなかったことが悔やまれます。

○ 苦戦したところ

2025年度入試から第3問が世界史との共通問題となり、歴史総合が出題されるようになりました。私は共通テストで日本史・世界史を選択したため、日本史の知識だけでは対応できない部分は共通テスト対策を通して近現代の世界史の知識を補強し、世界史寄りの問題にも対応できるようにしました。

○ 受験生の方に向けて

二次試験はテーマ史や過去問と類似した出題が少なくないため、400字の論述に慣れる意味でも、できるところから過去問演習を始めるのが有効です。解いた後は教科書や解説を読んで自分で添削し、知識不足や論理展開の改善点を確認するのも重要です。

○ 高2以下の方に向けて

教科書を隅々まで読む習慣をつけましょう。論述を書くには知識を文章にできる形で理解していることが求められます。また、コラムや注釈からも出題されるため、普段から細部にまで目を通すと良いです。

一橋受験の 極意

～世界史編～



大学受験でも屈指の難易度を誇っている一橋の世界史。勉強法の工夫や過去問の活用によって徹底的に対策することが大切です。

■ 社会学部 H.T.さん

○ 基本データ

- ・現役
- ・公立
- ・運動部

○ 特徴・傾向

一橋の世界史は、400字の論述が3題出題される形式で、小問がないことが多いです。中世から近代の欧米史や東アジア史が頻出ですが、たまにアフリカ史や中世以前の時代からも出題されることもあります。

○ 勉強法

二次試験の対策を始める前にまず全範囲の学習を済ませましょう。論述の要素として、頻出分野以外の範囲が必要になることもありますし、その学習が結果として頻出範囲のさらなる理解につながるからです。それが済んだら、論述の基礎を学べる参考書、予備校のテキストなどを用いて、二次試験対策を始めましょう。書いた論述は添削してもらい、できなかった部分については教科書などを用いて復習しましょう。教科書の表現をそのまま覚えるのもおすすめです。それ以降は一橋大学の過去問を解くと良いと思います。これも添削してもらい、できなかった部分を復習しましょう。一橋の世界史は同じようなテーマの問題がたびたび出題されるので過去問はたくさん解きましょう。

○ 使用した参考書

・『時代と流れで覚える！世界史用語』

○ 開示得点 117/230 (51%)

本来、目標は6割でしたが、第1問で解答の方向性から間違えてしまっていたため、思ったよりは低かったなという印象でした。第1問の出来が良くなかった一方で、第2問と第3問の比較的簡単な問題でしっかり得点することができたのが良かったです。

○ 苦戦したところ

二次試験の勉強において苦戦した部分は、なかなか400字も埋められないということです。これについては、教科書を熟読して知識を蓄えていったり、設問の要求に一つひとつ沿うように解答することを意識したりして解決しました。

○ 受験生の方に向けて

受験生の皆さんに伝えたいことは、「問題をしっかり読むべし」ということです。世界史の問題は設問部分に長い文章があることが多いですが、読み飛ばしていませんか？そのような部分に解答の方向性を決めるヒントが含まれていることが多いです。

○ 高2以下の方に向けて

一橋の世界史はたしかに難しいですが、基礎を固め、頻出分野をしっかり勉強することで点数の見込める、努力の反映されやすい科目であるともいえます。頑張って得点源にしてください。

みんなの勉強法を大公開！

一問一答で難しい単語まで全て詰め込む。

テキストや教科書の内容の流れを中心にしながら暗記する。

過去問を研究しながら、40年ほど演習する。

頻出分野を把握して、その範囲を徹底的に演習する。

■ 商学部 Y.S.さん

○ 基本データ

- ・ 現役
- ・ 公立
- ・ 運動部

○ 特徴・傾向

一橋世界史の特徴は400字論述が3題出題されることです。傾向は第1問が中世、近世のヨーロッパ、第2問が近現代のアメリカ・ヨーロッパ、第3問が日本史・世界史共通の歴史総合分野であることが多いです。

○ 勉強法

主に教科書、用語集、資料集を使って学習しました。教科書を読み込んで蛍光ペンなどを使って覚えやすいように教科書を工夫しました。用語集、資料集にのみ載っている内容を教科書に書き込んで情報を一元化しました。また学校の進度が遅かったため、YouTubeの動画で先取りをしました。10月ごろから一橋の過去問を解き始め、入試本番までに26年分解きました。最初のうちは400字を書くということはせず、構造のメモを書き、ネットや予備校の解答解説を見てわからなかったところを復習して教科書に書いていました。共通テスト後からは実際に400字書くことを目標にして解き始めました。解いた後は解答解説を見るだけでなく、学校の先生に添削してもらいました。

○ 使用した参考書

・『世界史探究 詳説世界史』

○ 開示得点 70/125 (56%)

試験後に予備校やネットの模範解答と自分の答案を照らし合わせてみても、必要な要素はほとんど書けており、減点されるような箇所もなかったはずなので、思ったより点数がもらえていないと感じました。

○ 苦戦したところ

苦戦したのは400字の文章を組み立てることです。一橋の世界史の特徴として、出題傾向が決まっているものの、その分設問が教科書レベルを超えていることがよくあります。そして資料を読み取る必要があることが多いことにも苦戦しました。

○ 受験生の方に向けて

一橋入試の世界史対策で最も大事なことは過去問を解くことです。また、解いた後は学校の先生に添削をお願いしたり、赤本の解答解説を参照して自分が書けなかった部分や書き方を参考にしたりすることが大事です。

○ 高2以下の方に向けて

まずはおおまかな通史を把握することが大事だと思います。YouTubeで世界史を解説している動画を見るのがおすすめです。また、定期試験を復習にを使って、学んだ単元の理解度をチェックすることも大事です。

一橋受験の 極意

～地理編～



選択する人は多くはないですが、難易度が高く、資料の読み取りなども厄介です。
しっかり対策をして周りとの差をつけましょう！

■ 経済学部 K.Y.さん

○ 基本データ

- ・現役
- ・私立中高一貫
- ・運動部

○ 特徴・傾向

一橋の地理は400字の記述形式の大問3つで構成されています。例年、グラフや表を正確に読み取り、解釈する難易度の高い問題が出題されます。また、試験時間は120分ですが分量が多いため時間に余裕はありません。

○ 勉強法

まずは地理の基本的な知識を学校で配布される教科書や共通テスト対策用の網羅的な参考書を通して学習します。論述の対策はその後に始めましょう。論述では限られた字数の中で採点対象となる要素を押さえることが必要で、何を書き、何を書かないかの取捨選択が大切です。また、論理の飛躍には得点が与えられないので、記述する際は気をつけましょう。これらの点に気をつけたうえで、問題集や過去問を活用し演習します。一橋の地理は思考力を問う問題が多いため、過去問を解くときは思考のプロセスを大切にしながら実際に時間を測って演習します。間違えた問題については考え方を確認すると同時に、その問題の分野の知識を教科書などで適宜補完しましょう。

○ 使用した参考書

・『実力をつける地理 100 題』

○ 開示得点 80/160 (50%)

私は、経済学部志望で数学と英語が得意科目だったため、二次試験では地理の得点目標を4割にしていたのですが、開示得点はちょうど5割でした。満足できる点数ではあったものの、いくつかの問題で正解から大きく外れた解答をしてしまい、部分点をあまり得られなかったことが反省点です。

○ 苦戦したところ

論述を時間内に終わらせ、なおかつ大きく減点されない論理的な答案を作成することに苦戦しました。論述の速さは過去問を解く過程で養われます。また、論理的な答案の作成のためには、試験中に自分の答案を見直すことや、何がいけなかったのかを復習することが大切です。つまり演習が命です。

○ 受験生に向けて

一橋の地理は問題集が少ないことや、対策法があまり確立されていないことなど、学習に不安を感じてしまう原因がたくさんあります。しかし、しっかりと知識を身につけて過去問演習を大量に行うことで、ある程度良い点数が取れるようになるので頑張ってください！

○ 高2以下に向けて

高2までは教科書を読み、基本的な知識を入れ、その後に問題集に取り組むのが良いです。しかし、数学や英語を先に完成させることが望ましいので、地理には勉強時間を割きすぎないようにしましょう。

一橋受験の 極意

～総合問題編～



SDS学部志望の人が受験する総合問題は過去問が少なく対策もしづらいので、このページで対策の極意をマスターしましょう！

■ SDS学部 Y.A.さん

○ 基本データ

- ・ 現役
- ・ 私立中高一貫
- ・ 文化部

○ 特徴・傾向

年によってかなり問題に差があります。数学と情報を掛け合わせたイメージです。当日の問題を解くうえでの思考スピードが大切になると感じました。

○ 勉強法

私は、正直総合問題の勉強の仕方がわからなかったので「問題を当日頑張って解こう」というスタンスで臨みました。過去問を解いて雰囲気や時間配分の感覚をつかむのはかなり有効だと思います。初めは総合問題とは何かまったく知らなかったのも、初めて過去問を解いた時は「なるほど、面白い」と思いました。その時の問題は、共通テストの統計を発展させたようなものと、IPアドレスの仕組みに関するものが印象に残っています。しかしその後ほかの年度の過去問も解いていくうちに、プログラミングから英語の長文読解まで、年によってかなり差があるとわかり、総合問題の対策に時間を割くことを諦めました。

○ 使用した参考書

- ・ 過去問

○ 開示得点 37/90 (41%)

思ったより取れていなくてひやっとしました。個人的には本番の採点は塾や予備校などの採点よりも厳しいと感じました。強いて言えば第2問の累積購入者数予測モデルの問題の、状況把握と読解に時間を使いました。

○ 苦戦したところ

一番悩んだのはやはり対策の仕方がわからなかったことです。総合問題対策をしている参考書はほぼないですし、唯一参考になる過去問も、先述したように年度ごとに問題の内容に大きな差があるため、あまり頼りにできませんでした。

○ 受験生の方に向けて

総合問題は対策がしづらく配点もそこまで高いわけではなく時間をかけて勉強しても報われない可能性が高いため、まずは配点が高い数学や英語などの科目の対策を大切にしたいです。

○ 高2以下の方に向けて

総合分野を勉強するより、まず共通テストの情報をしっかり勉強しましょう。プログラミングなどは得意不得意が分かれてしまいがちなので、範囲が狭くて効率の良い暗記部分に力を入れると良いと思います。

一橋受験の 極意

～みんなの失敗談～

長い受験生活、誰しもうまくいくことばかりではありません。先輩の失敗談を知り、今後の自分の糧にしましょう！



■ 商学部 A.K.さん

○ 基本データ

- ・ 現役
- ・ 私立中高一貫
- ・ 文化部

○ 自分の失敗談

私の失敗は世界史の過去問を解き始めるのが遅かったことです。ずっと通史の勉強をしていましたが、最終的に一橋以外で世界史を受験したのは1学部のみだったので、もっと計画的かつ効率的に勉強できたなと後悔しています。

○ 失敗が受験に

どのような影響を与えた？

私は二次試験の過去問対策を始めたのが高3の秋ごろと遅かったので10年分しか解けませんでした。その結果、世界史の過去問演習量が少なかったために世界史に対する自信がなくなってしまい、二次試験の日が近づくほど不安が募っていきました。

○ 失敗の経験から学んだこと

世界史への不安から、本番の3日前まで先生に添削をお願いし、2日前に下書き用紙の使い方を相談し、当日の昼休みにも先生のYouTubeを見て頻出分野の整理をしていました。過去問をもっと解けていれば不安は減ったと思います。

○ 受験生に向けて

過去問研究はやればやるほど自信がつきますし、暗記科目であるため自分が知らない問題は受験生のほとんどが知らないはずです。一橋に絶対入りたいという方は少しでも不安要素をなくすために早い段階から過去問を解き始めた方が良いでしょう！

○ 高2以下に向けて

高1、高2の皆さんはとにかく通史を固めてください。学校の進度は人それぞれですし、無理に一人で勉強を進めなくて良いと思いますが、習った範囲から着実に完璧にしていくことをおすすめします！

みんなの失敗談集

スマホを触りすぎたためにあまり睡眠をとれなかった。

2月に入ってからモチベーションを失ってしまった。

ほぼ計画を立てずに勉強し、勉強する科目の配分が乱れてしまった。

覚えた単語を復習しなかったため、直前に覚えなおす羽目になった。

高2までほぼ勉強していなかったため、基礎が固まっていなかった。

復習をあまりしなかったため、模試をうまく活用できなかった。

苦手な科目に取り組むのを渋っていたため、より対策が遅れてしまった。

直前期になってから生活リズムが乱れてしまった。

重めの課題などのやるべき勉強を先延ばしにし続けてしまった。

起きるのが遅く、午前中にあまり勉強できなかった。

■商学部 D.H.さん

○基本データ

- ・現役
- ・公立中高一貫
- ・運動部

○自分の失敗談

私の受験における失敗は、数学の勉強計画をうまく立てられなかったことです。私は高2の終わりがちまで数学が得意科目でした。しかし、高3になってから応用の部分だけを勉強するようになり、基礎を固められず、解法の暗記に終始してしまい数学力が低下しました。

○失敗が受験に

どのような影響を与えた？

ずっと数学から目を背けていたのですが、共通テストの前になって数学ができないことが浮き彫りになってしまい、ほかの科目の対策に使うはずの時間を数学に充てる必要に迫られました。得意だった科目が勉強の不安材料になり、とても不安になりました。

○失敗の経験から学んだこと

ここから私が学んだことは基礎を固めることの重要性です。基礎的な学習がなくては、解法暗記に頼ることになり、応用力が失われます。加えて、基礎的な学習をしっかりと行うことは自信につながります。

○受験生に向けて

受験生の皆さんに伝えたいことは、受験勉強をするうえではたくさんの失敗があってもよいということです。受験勉強に失敗はつきものです。とにかく受験生の皆さんは自分の失敗を責めるのではなく、その失敗を解決して乗り越えようとする自分を励ましてあげてほしいです。

○高2以下に向けて

受験勉強というものはとても難しいです。ただ長い期間続くものであるため、簡単に逆転が起こり得ます。自分の相対的な立ち位置を過度に気にせず、自分の能力に絶対的な自信を持てるようになりましょう。